

ひまわり在宅サポートグループ

土屋力也 (所長代理 / 中央地域包括支援センター)

功 績 病院と協同したマーケティング兼アウターブランディングである地域の除草活動に率先して参加。毎週土曜日の活動時にご利用者からの体調不良連絡を受け、そのまま健育会病院の直接入院に繋げ、ひまわり理念である”法人連携”と”安心したサービス提供”を実践し病院稼働にも貢献した功績。

推 薦 者 在宅部長 大友悠平

推 薦 理 由 新管理者として成果を積み重ねていきつつ、ICTを効率的に運用、今まで希薄だった法人内連携を率先して取り組み等地道に活動してきました。非営業日でのケアプランご利用者の緊急対応を当日中に法人病院入院を調整した事は日ごろの顔つなぎがあったからことだと思えます。法人内に大きく貢献した功績として理事長賞に推薦します。

内 容

土屋は中央包括支援センターの管理者2年目です。若手ながらも管理職に抜擢され、得意なICT取組を提供表のペーパーレス化やデータ管理等に生かし、日々新しいことにチャレンジをしております。包括支援センター事業は市の委託事業という点から、こと売上の部分で大きな貢献が難しい事業でしたが、土屋は率先して石巻健育会病院の地域の除草活動に参加、マーケティングを兼ねたアウターブランディングに取組、法人内だけでなく、担当業務以外の地域住民との連携を深めていくようになりました。

9月の除草活動の土曜日、ケアプランご利用者の娘様から緊急電話が入電、「前日から(ご利用者が)腰を痛めていて、動けない。トイレに行くのも大変なので車椅子を(福祉用具業者から)貸してほしい。」との依頼がありました。詳細をヒアリングしつつ、活動参加中の石巻健育会病院の医療相談員にベッドの空き状況を確認。空きがあると分かるそのまま医療相談員と連携しすぐにご利用者の承諾を得つつ検査依頼を行いました。土屋はご利用者が円滑に病院受診が出来る様に即座に車椅子を病院から借り、ご利用者のお家に伺い、娘様の車に協力して移乗。スピーディな対応から依頼があった午前中に受診となりました。

結果、圧迫骨折の診断となり、すぐにリハビリ入院に取り次ぐ事が出来ました。非営業日にも関わらず、当日中の入院に繋げた事は日々の密な連携の取組の結果であり、法人病院のベッド稼働の貢献につながりました。

ご利用者は11月中旬に無事自宅退院。ご本人・ご家族からは迅速な入院ができた事、健育会病院のリハビリの成果から入院前よりも自立したADLを送れる事に感謝のお言葉を頂いております。